

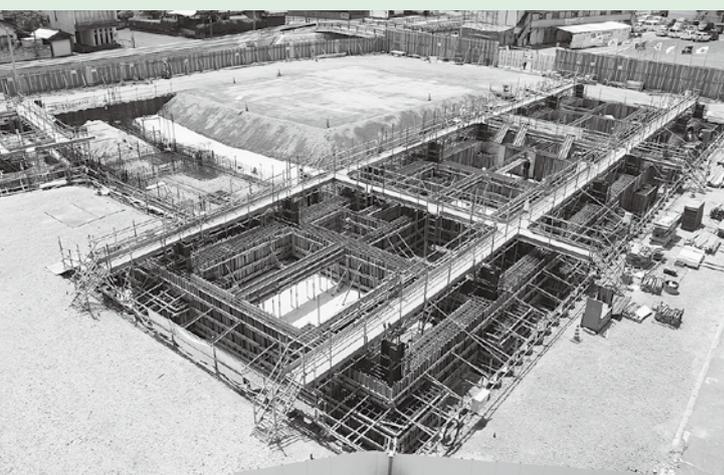




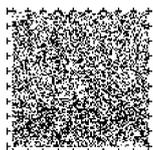
▲安来市総合文化ホール愛称は「アルテピア」に決定しました。「アルテ」は芸術を表すスペイン語とイタリア語のアルテ (arte)。「ピア」は理想郷を表すユートピア (utopia) のピアを意味しています。写真は6月の工事の様子。



▲整備事業が進む月山富田城跡の様子(5月)。山頂から太鼓壇、千畳平方面を望む。山頂からの展望が良くなり広瀬の町並みや能義平野、中海を望むことができるようになります。工事は今秋までかかる見込みです。



▲新安来庁舎建設は、現在、基礎工事を行っており、今後、建物の躯体工事に移行予定です。竣工は、計画どおり平成29年5月の予定です。写真は6月に撮影。



業団地北側を適地と選定しました。今後は具体的な整備に向け、必要な調査を実施していきます。全国的な企業拠点の分散の動きや、市内製造業等の企業ニーズに対応できるように、関係機関や、庁内関係部署で連携を取りながら、早期の工業団地整備を進めていきます。

### 安田地区農地整備事業

安田地区のほ場整備事業起工式が先月17日に行われ、受益面積が57.4haにわたり、総事業費18億3600万円を投じて、平成32年度に完成の予定です。

既に完成している能義第一・宇賀荘・能義第二、そして現在整備中の大塚地区を合わせると約610haとなり、県内屈指の大区画ほ場が完成します。企業的な経営を指した新たな農業展開への転換と、食糧生産基地としての役割を担う存在

になり得るものと確信し、大いに期待をします。

月山富田城整備  
昨年度から行っており、山頂部の樹木伐採も終わり、広瀬の街や安来平野から、曲輪や石垣、堀切等が確認できるようになりました。今年度は、登山道にもなっている七曲りの園路整備や千畳平等の樹木伐採を進めていく予定です。また、歴史資料館の内部改修に

より、観光案内業務やボランティアガイドの待機所等の整備を行い、月山観光の振興を進めていきます。

姉妹都市密陽市との交流  
先月、密陽アリアン大祝祭への招待を受け、森脇副市長と田中議長が密陽市を訪問しました。今年の大祝祭では、歴史と伝統のある祝祭の意味を唱えつつ、自然美と造形美が一体となった独創的な企画を取り入れ開催さ

れ、密陽市長をはじめ、会場の観客とともに密陽市の歴史と文化に触れ、互いの絆を深めました。

また、この度の訪問では、社日小学校と姉妹校交流を行っている守山(スサン)初等学校を表敬訪問し、鄭福璘(ジョン・ボクリン)校長と意見交換を行いました。

以上、諸般の報告について申し上げます。